

事業番号	04 08 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	子ども・若者育成支援事業		部局	県民文化部子ども若者局	課・室	次世代サポート課
			実施期間	S28 ~	E-mail	jisedai@pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・本県における不登校児童生徒は増加傾向にあり、民間施設を利用する児童生徒も増加しているが、民間施設の財政基盤が脆弱であり、学校と比較して子どもの学びの充実を図ることが困難。また、困難を有する子ども・若者支援として、子ども・若者の将来を見据えた支援機関同士の連携を更に進める必要がある。

・信州子どもカフェは県下170か所（令和4年10月）となり、昨年より増加したが、身近な地域の居場所としてはまだ不足している。

・県内にも一定数のヤングケアラーが存在することから、教育・福祉等分野を問わず子ども・若者に関わる関係機関が連携して、いち早い当事者の発見と把握・具体的な支援を行う必要がある。

2 事業目的

長野県の全ての子ども・若者が健やかに育つことができ、また支援を必要とする子ども・若者を支えることができる社会の実現を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

- ① **青少年の健全育成の推進**
- ・インターネットの適正利用等を目的とした普及啓発の推進
 - ・子どもの相談体制の確保のため、「チャイルドライン」の活動を支援
 - ・子ども・若者支援に関する総合的な計画等を審議
 - ・子どもの性被害防止のための周知啓発活動を実施
- ② **子どもの居場所づくりの推進**
- ・【拡】子どもの居場所の普及拡大のため、信州子どもカフェ運営費の開催頻度に応じた補助単価を引上げ
- ③ **困難を有する子ども・若者への支援**
- ・【新】ヤングケアラーの支援体制整備のため、相談窓口、コーディネーター等を設置
 - ・【新】不登校児童生徒の「学びの充実」のため、「信州型フリースクール（仮称）」認証制度の創設を検討
 - ・子ども・若者育成支援推進法に基づく「子ども・若者支援地域協議会」の運営
 - ・困難を有する子ども・若者の社会的自立を支援するため、自立支援の場運営団体に対し助成
 - ・発達に特性を持つ子ども・若者の教育相談体制強化のため、教育相談窓口を設置
 - ・通信制高校サポート校等を利用する生徒の経済的負担軽減のため、利用料の一部を助成
 - ・学校以外の「学びの場」での学びの充実のため、専門的人材の活用に必要な費用の一部を支援
- ④ **発達障がい者への支援**
- ・【拡】支援体制や情報発信の充実のため、発達障がい者支援センターを発達障がい情報・支援センター（仮称）に改組
 - ・発達障がい者が身近な地域でライフステージに合わせた切れ目のない支援が受けられるよう、発達障がいサポート・マネージャーを配置
 - ・発達障がい者支援体制の検討のため、長野県発達障がい者支援対策協議会を設置
- ⑤ **子ども・女性や若者への支援**
- ・【新】大学等への進学希望を応援するため、将来有望な若者に対して給付型奨学金を支給
 - ・【新】こども基本法に基づき子どもの声や、女性・若者の声を政策に反映させるため、定期的に意見を聴く新たなモニター制度を実施

4 成果指標

（推移の凡例 ↑：改善 ↓：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	地域における子どもの性被害防止等のための研修会の参加人数	人	7,532	10,949	↑	11,000	↑	12,000		子ども・若者支援総合計画において5年間の延べ参加者数を6万人にすることが目標のため、初年度のR5年度は20%の12,000人を目標とする。	
②	県が主催する信州子どもカフェに関する研修会参加者数	人	—	—	—	37	—	80		R5年度の信州子どもカフェ（約200箇所）のうち、4割以上の参加を目標とする。	
③	子ども・若者支援地域協議会における要支援者の支援完了及び継続者の割合	%	90	91	↑	91	→	90		困難を抱える子ども・若者（要支援者）に対する、関係機関の効果的な連携支援を推進するため、9割以上を目標とする。	
④	発達障がい者サポーター養成講座の受講者数	人	15,485	15,934	↑	16,500	↑	17,200		子ども・若者支援総合計画において5年後に受講者数を20,000人にすることが目標のため、初年度のR5年度は700人増の17,200人を目標とする。	
⑤	奨学金が進学の後押しになったと回答した者の割合	%	—	—	—	—	—	60		日本学生支援機構給付奨学金における同様の設問における回答（R3）が59.9%であることから、6割以上を目標とする。	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（指標名）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
4-1②	子ども・若者が夢を持てる社会の創造	ヤングケアラー支援ネットワーク体制を構築している市町村数	市町村	2019 (R1)	-	2020 (R2)	-	2021 (R3)	-	2027 (R9)	77
4-1②	子ども・若者が夢を持てる社会の創造	信州子どもカフェ設置数	箇所	2019 (R1)	117	2020 (R2)	133	2021 (R3)	159	2027 (R9)	270
4-1②	子ども・若者が夢を持てる社会の創造	信州子どもカフェ設置市町村数	市町村	2019 (R1)	40	2020 (R2)	41	2021 (R3)	46	2027 (R9)	77
5-2①	一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出	該当なし									

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)		214,377		214,377	109,299	10.0
	(要求)		188,688		188,688	93,724	
R4年度	0	173,983	2,805	176,788	92,980	10.0	
R3年度	0	183,563	△ 15,602	167,961	98,560	157,807	10.0
予算要求からの 主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラー支援対策推進事業について、委託料の精査による減額 ・長野県大学生等奨学金事業、子ども・若者モニター事業について、事業体系を整理したことによる増額 						

事業番号	04 08 02	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	子ども・若者育成支援事業		部局	県民文化部子ども若者局	課・室	次世代サポート課

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
1	青少年の健全育成事業	23,164 千円	25,386 千円	(予算案) 20,498 (要求) 20,498 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	長野県将来世代応援県民会議（青少年育成事業）補助事業	補助金	青少年健全育成運動を行う長野県将来世代応援県民会議に対し、補助金（青少年サポーター設置事業、子どもの性被害予防のための取組支援事業、青少年インターネット適正利用推進協議会事業など、子どもの性被害予防関係事業、青少年健全育成大会を含む）の交付を行う。 補助金交付先：長野県将来世代応援県民会議 青少年健全育成大会の開催 1回、性被害予防・情報モラル研修会補助 190件		
2	チャイルドライン支援事業	補助金	18歳までの子どもが架ける相談電話「チャイルドライン」の活動を支援することで、県内の子どもたちの声に寄り添える体制の強化を図る。 補助金交付先：長野県チャイルドライン推進協議会 支給対象 1団体、支給額 3,709千円		
3	青少年問題協議会開催事業	直接	子ども・若者支援に関する総合的な計画及び子どもを性被害から守るための取組について審議する。 開催回数 2回		
4	健全な社会環境づくり事業	直接	子ども・若者育成支援推進本部による県民運動の推進や、子どもを性被害から守るための啓発物品を作成し、周知啓発を行う。 街頭啓発リーフレット等作成 36,000部		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
2	子どもの居場所づくり推進事業	10,110 千円	12,430 千円	(予算案) 12,540 (要求) 12,540 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州子どもカフェの推進	直接 補助金	【拡】信州子どもカフェの運営費を支援する。（開催頻度に応じて上乗せ補助） 信州子どもカフェ開催頻度向上等に向けた研修会を開催する。 支給対象(子どもカフェ)75団体、(プラットフォーム)10団体、研修会開催 2回		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算	
3	困難を有する子ども・若者支援事業	72,595 千円	61,964 千円	(予算案) 73,649 (要求) 75,277 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	子ども・若者支援地域協議会事業	委託	社会生活上の困難を有する子ども・若者への支援を円滑に行うために、子ども・若者育成支援推進法に基づく地域協議会の運営を行う。 地域協議会の設置 4地域（東信、南信、中信、北信）		
2	困難を有する子ども・若者の専門的な自立支援の場応援事業	補助金	社会生活上の困難を有する子ども・若者に対して専門的な自立支援の場を提供する団体を助成することで、県内の子ども・若者支援体制の強化を図る。 支給対象 7団体、支給額 11,000千円		
3	発達障がいのある子ども・若者の教育相談支援事業	委託	発達障がいなど認知特性に偏りが見られる児童生徒を対象とした教育相談の支援を行う。 教育相談窓口の設置 1箇所		
4	通信制高校サポート校等就学支援事業	補助金	通信制高校と連携する教育施設へ通う住民税非課税世帯の生徒への支援を行う。 支給対象 116人		
5	不登校児童生徒の学校以外の「まなびの場」支援事業	補助金	学校以外の「学びの場」における専門的人材の活用等を支援することで、不登校児童生徒の学びの充実を図る。 支給対象 4団体、支給額 1,200千円		
6	信州型フリースクール認証制度構築事業	直接	【新】有識者や当事者（民間施設運営者）等により、「信州型フリースクール（仮称）」認証制度の創設を検討 有識者等会議の開催 5回		
7	ヤングケアラー支援対策推進事業	委託	【新】専用相談窓口の設置やコーディネータの配置等、幅広くヤングケアラーへの支援を行う。 コーディネータ委託 1団体、オンラインサロン委託 1団体、通訳派遣支援事業委託 1団体		

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
4	発達障がい者支援事業	77,694 千円	74,203 千円	(予算案) 80,373 (要求) 80,373 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	発達障がい情報・支援センター事業	委託	【拡】発達障がい者支援センターを発達障がい情報・支援センター(仮称)に改組し、発達障がい児者への適切な支援や情報発信の充実など、支援機能を強化する。 発達障がい情報・支援センターの設置 1箇所	
2	長野県発達障がいサポート・マネージャー配置事業	委託	10圏域に発達障がいサポート・マネージャーを配置し、一貫した支援を提供する。 発達障がいサポート・マネージャーの配置 10圏域	
3	市町村発達障がい者支援体制強化事業	委託	10圏域12名の市町村サポート・コーチが、年代や分野を超えて支援者が情報を共有するツールの普及を図る。 市町村サポート・コーチの配置 10圏域	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
5	子ども・女性・若者支援事業	0 千円	0 千円	(予算案) 27,317 (要求) 0 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(予定)(上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)	
1	長野県大学生等奨学金事業	委託 直接	【新】将来有望な若者の大学等への進学を応援するため、奨学金の支給を行う。 奨学金の給付 40名	
2	子ども・若者モニター事業	委託	【新】意見表明機会を確保するためのモニター制度を設け、子どもや女性・若者の声を関連政策に反映する。 子ども・若者モニター登録 300名	